

令和 7 年度の事業進捗について（報告）

1 展覧会事業

●開催報告

令和 6 年度豊田市民芸館 第 41 回特別展

「おいしい民窯－食のうつわ」

- 1 展覧会名 おいしい民窯－食のうつわ
- 2 会 場 豊田市民芸館（豊田市平戸橋町波岩 8 6－1 0 0）第 1・2 民芸館
- 3 会 期 令和 7 年 1 月 11 日（土）～5 月 25 日（日）（1 1 9 日間）
午前 9 時 30 分～午後 5 時
- 4 観覧者数 6,455 人（5 4 人／日）
- 5 関連企画
 - 特別展示「とよたの旬を、民窯のうつわに盛って」
広報とよた「旬レシピ」コーナーとの連携企画を展示
協力：豊田市農産物ブランド化推進協議会
 - 記念講演会
日 時：2 月 22 日（土）午後 2 時～3 時 30 分
演 題：「瀬戸本業窯のこれまでとこれから」
講 師：水野雄介氏（瀬戸本業窯 八代半次郎後継）
会 場：豊田市民芸館（第 3 民芸館）
聴 講：無料（ただし会期中の観覧券の提示必要）
参加者：5 4 人
 - アフタートーク（コーヒー付座談会）
参加者：2 0 人
- 6 グッズ販売 瀬戸本業窯をはじめ全国の民窯のうつわの委託販売。
- 7 その他 アンケート集計結果（別紙）
- 8 総 括
 - ・今回の展示では、愛知県の瀬戸焼をはじめとした全国の民窯のやきもの、河井・濱田による食のうつわや日本民藝館展の入選作品を中心とした現代の職人の手仕事によるものなど、当館が所蔵する食にまつわるやきものを紹介した。
 - ・民窯の展示は過去に当館でも数回開催しているが、「おいしい」という親しみやすい言葉を使用したタイトルから気軽に展覧会を観覧頂くことができた。
 - ・桜開花の時期に開催する展覧会は、幅広い層の観覧者を獲得することができる機会であるため、今後も工夫が必要である。

●次回展覧会

令和 7 年度豊田市民芸館 企画展

「鈴木繁男 手と眼の創作」（別紙 2）